





日本は災害の多い国であり、気象災害の影響ランキングでは、世界183か国中ワースト1位\*です。  
災害の記録や調査研究から、性別によって災害時の影響や担う役割、支援ニーズなどの違いがあることが明らかになっています。

\*出典: ジャーマンウオッチ「世界気候リスク・インデックス」2020年版

男女共同参画・ジェンダー視点からの  
災害支援・復興・防災が重要です。



## ジェンダー視点でみる災害に関する出来事(東日本大震災以降)

### 2011年 「東日本大震災復興基本法」施行

- ◆基本理念に“女性、子ども、障害者等を含めた多様な国民の意見が反映されるべきこと。”が明記

### 2012年 第56回国連女性の地位委員会(CSW)「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント」採択

- ◆日本政府が1958年からCSWに参加して以来、初めて決議案を提出  
女性の参画、女性のニーズへの配慮等の必要性を要請

#### 日本女性会議2012 仙台にて開催

- ◆「震災復興に向けた女性の参画とエンパワーメント」について議論  
全国から2,000人以上が参加

### 2013年 内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの防災・復興の取り組み指針」作成

- ◆過去の災害対応における経験を基に、男女共同参画の視点から必要な対策・対応について  
予防、応急、復旧・復興等において地方公共団体が取り組む際の指針となる基本的事項を示した

### 2015年 第3回国連防災世界会議 仙台にて開催 「仙台防災枠組2015-2030」採択(p.2参照)

### 2020年 内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」作成

(参考) 浅野富美枝, 天童睦子編著「災害女性学をつくる」生活思想社 2021

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点」<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/>

内閣府男女共同参画局編「令和3年版 男女共同参画白書」2021

橋本ヒロ子「第56回国連婦人の地位委員会(CSW)報告 (1)CSW日本代表として」『国際女性』26(1), 2012, p.24-27


## 『現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した災害支援事例集： 災害支援にジェンダーの視点を! : こんな支援が欲しかった!』

東日本大震災女性支援ネットワーク 2012

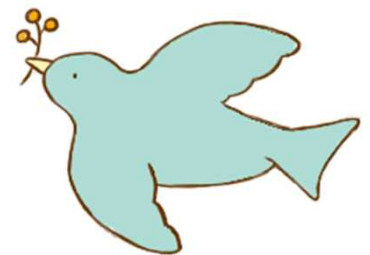


東日本大震災時における、被災者の多様なニーズに配慮した支援活動の経験・事例がまとめられています。事例は発災直後・復興期・常時などの時期別、行政や支援団体、ボランティアなどの支援者別に、見落とされがちなニーズやその対応について知ることができます。

「東日本大震災女性支援ネットワーク」は2014年に解散し、現在は「減災と男女共同参画 研修推進センター」としてジェンダーの視点を取り入れた防災・復興の対策と体制を普及させるための活動を行っています。

 東日本大震災女性支援ネットワークHPにPDFが公開されています  
<http://risetogether.jp/?p=2189>

多様な意見を反映させるためにも、災害復興や防災のあらゆる場面において、女性リーダーの存在が大きな意義を持ちます



2015年第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組 2015-2030」において、災害リスク削減を基本理念とし、女性のリーダーシップを促進することや女性の参画・能力開発が盛り込まれています。


## 『市民のための仙台防災枠組 2015-2030』

松本淳編

防災・減災日本CSOネットワーク 2016



「仙台防災枠組」が目指すべき目標や基本となる考え方、そのためにわたしたちが優先すべき行動など、枠組みの要旨がコンパクトにまとめられています。災害・防災を自分ごととして考えるきっかけとなる一冊です。

 仙台市HPでPDF、e-bookが公開されています  
<https://sendai-resilience.jp/sfdr/>

「女性情報レファレンス事例集」国立女性教育会館

<https://winet.nwec.go.jp/reference>

女性関連施設でよくある情報相談(レファレンス)をQ&A形式でまとめた事例集です。

(280) 2015年3月に、日本で国連防災世界会議が開催されましたが、女性に関する取組はなされたのでしょうか。

 回答はWeb上でご覧ください

# 『よりよく生き延びる：3・11と男女共同参画センター』

公益財団法人せんだい男女共同参画財団編

新潮社図書編集室 2017



仙台市男女共同参画推進センターを指定管理者として運営する、せんだい男女共同参画財団の、東日本大震災後の取り組みがまとめられています。職員は自身も被災者である中で、緊急相談、洗濯代行等、様々な女性支援を行いました。災害対応の経験から、男女共同参画センターの担う役割、これからのあり方について考える一冊です。

## 「女性関連施設データベース」国立女性教育会館

<https://winet.nwec.go.jp/sisetu/>



全国の女性センター・男女共同参画センターの施設概要、実施している事業について検索することができます。

どんな施設があるのか調べてみよう！



## 『災害女性学をつくる』

浅野富美枝, 天童睦子編著

生活思想社 2021



災害女性学は、災害時に女性が直面する問題とその要因を明らかにし、「解決にむけての力となる思想的・理論的枠組みを提示する新しい知識と具体的・実践的ツール」。

主に日本の1990年代以降の大震災に注目し、災害と女性の歴史、各地での取り組みと課題、ジェンダー視点の災害研究などについて書かれています。ジェンダー視点で災害を考える重要性がわかる一冊です。

## Web上で見られる資料

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」

<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html>

- 備蓄チェックシート
- 避難所チェックシート
- 応急仮設住宅・復興住宅チェックシート
- 男女別データチェックシート
- 授乳アセスメントシート

チェックシートをダウンロードして、災害発生時や、防災に活用しよう！



／ 少しずつ改善されていること /

## 女性委員のいない都道府県防災会議

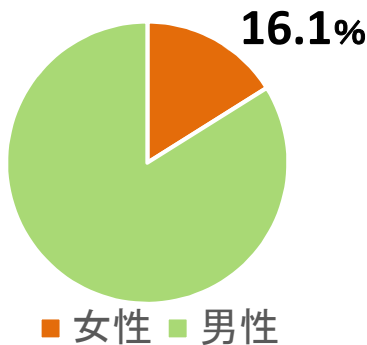
2011年  
12 会議



2020年  
0会議

参考：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」  
平成23年度（2011年4月1日現在）、令和2年度（2020年4月1日現在）

## 都道府県防災会議の委員に占める女性の割合



第5次男女共同参画基本計画での目標  
2025年までに30%

参考：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和2年度）」集計表4-2(2020年4月1日現在)  
「第5次男女共同参画基本計画」第8分野 防災・復興、環境問題における男女共同参画の推進



防災分野での男女共同参画が進められてきていますが、  
意思決定の場における女性はまだまだ少ないという現状があります

「女性情報レファレンス事例集」国立女性教育会館

<https://winet.nwec.go.jp/reference>

(313) コロナ禍における防災と女性について、地域活動における男女共同参画と関連した動きはあるのでしょうか。

回答はweb上でご覧ください

## Web上で見られる資料

内閣府男女共同参画局「地域における男女共同参画の視点からの防災・復興に係る啓発資料」

[https://www.gender.go.jp/policy/chihou\\_renkei/torikumi/keihatsushiryo.html](https://www.gender.go.jp/policy/chihou_renkei/torikumi/keihatsushiryo.html)

都道府県や市区町村の避難運営所ガイドラインや防災ハンドブック、災害がテーマの広報誌などがPDFで公開されています。


## もっと知りたい方へ・・・

女性教育情報センターは、国立女性教育会館内にある、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。

## 女性・ジェンダー関連情報を調べるのに最適！



国立女性教育会館 文献情報データベース(所蔵資料検索)

 [https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac\\_search](https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac_search)



【検索キーワード】 防災、復興、震災、台風、洪水、被災、避難など

 図書の貸出、新聞記事の複写郵送サービスなどを行っています。ぜひご利用ください！

## NWEC 災害文庫

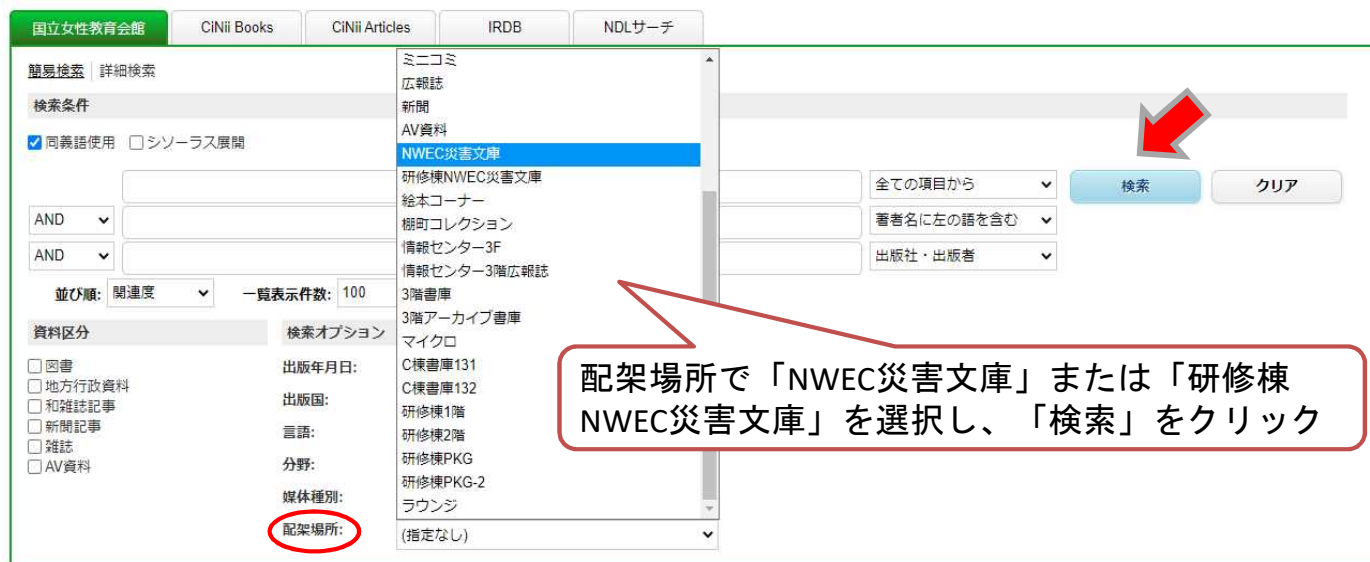
防災や災害時・復興に不可欠な男女共同参画やジェンダー視点を伝えることを目的として2019年に開設。



女性たちの被災記録や調査資料、男女共同参画の視点に立った防災ハンドブック、行政資料などを所蔵しています。



## 🔍 「NWEC 災害文庫」の資料検索方法(文献情報データベース)



配架場所で「NWEC災害文庫」または「研修棟 NWEC災害文庫」を選択し、「検索」をクリック

# NWEC災害復興支援女性アーカイブ

NWECと全国の女性関連施設等が連携して構築する、女性の視点からの災害復興支援活動の記録です。

写真、講演資料、調査報告書、広報誌などを公開しています。

**国立国会図書館東日本大震災アーカイブ ひなぎくとも連携！**



[https://w-archive.nwec.jp/il/meta\\_pub/G0000337wd](https://w-archive.nwec.jp/il/meta_pub/G0000337wd)

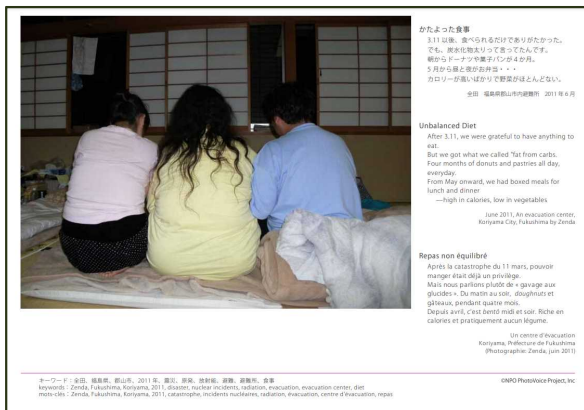
## 『被災した女性たちが提示する防災・復興の課題：東日本大震災のフォトボイス(写真と声集；No.2)』 フォトボイス・プロジェクト編 フォトボイス・プロジェクト 2018

NPO法人フォトボイス・プロジェクトは、東日本大震災被災女性たちの経験を記録・発信するために発足しました。

フォトボイス(Photo Voice)とは、写真とそれに添える「声」によって構成される表現方法です。

被災者が撮影した写真とともにメッセージが掲載されています。

NWEC災害復興支援女性アーカイブでフォトボイス・プロジェクトの資料を公開しています



かたよった食事 2011



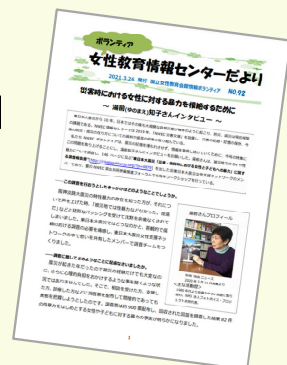
しぶとく、何度でも 2013

## Web上で見られる資料

- **パスファインダー:「女性と災害」について調べる**  
国立女性教育会館情報課 2021年1月作成  
<http://id.nii.ac.jp/1243/00018869/>



- **ボランティア女性教育情報センターだより 92号**  
特集「災害時における女性に対する暴力を根絶するために」  
国立女性教育会館情報ボランティア 2021年3月発行  
<http://id.nii.ac.jp/1243/00018883/>



# 災害とジェンダー

～記録を未来へ生かす～

女性教育情報センターテーマ展示 (10～12月)



【URL】<https://www.nwec.jp/event/center/disaster.html>



編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課

〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地

TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>



発行: 2021年10月

